

第1章

表計算練習ソフトの起動と終了

この章では、表計算練習ソフトの起動方法と終了方法などを説明します。

1. キーボードの接続

作業を始める前に、ディスプレイ、キーボード、マウス、プリンタが接続されていることを確認してください。

この表計算練習ソフトは、3つの訓練段階（訓練段階Ⅰ・訓練段階Ⅱ・訓練段階Ⅲ）からなっており、各訓練段階により使用するキーボードが違います。

次の表を参考に、それぞれに合ったキーボードを接続してください。


訓練段階	使用するキーボード
訓練段階Ⅰ	簡易型キーボード#3（マスクボード#3）
訓練段階Ⅱ	簡易型キーボード#3（マスクボード#3）
訓練段階Ⅲ	標準キーボード

2. 表計算練習ソフトの起動方法

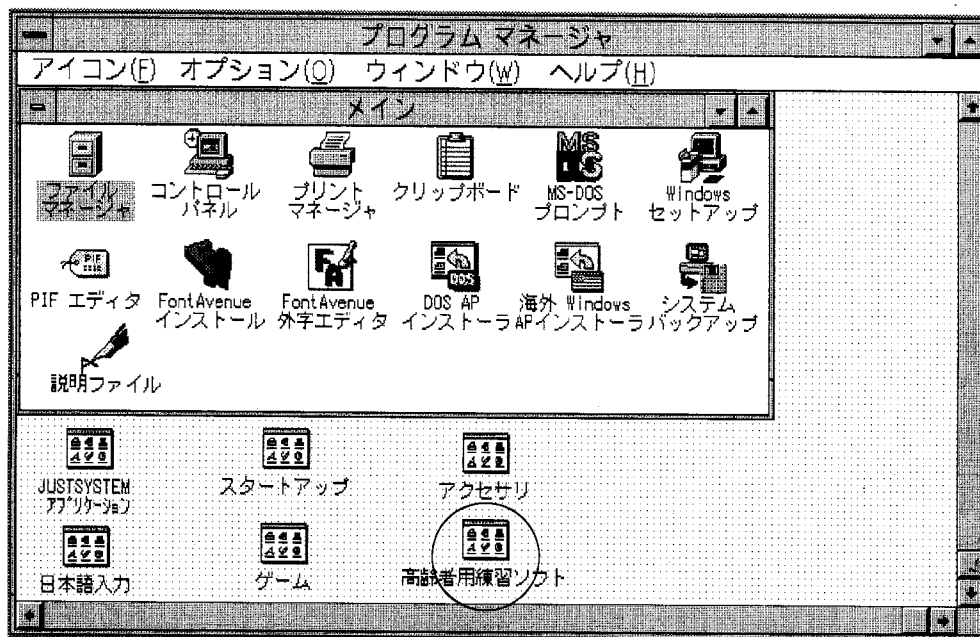
表計算練習ソフトの起動は、次のようにして行います。

操 作


① 電源を入れる

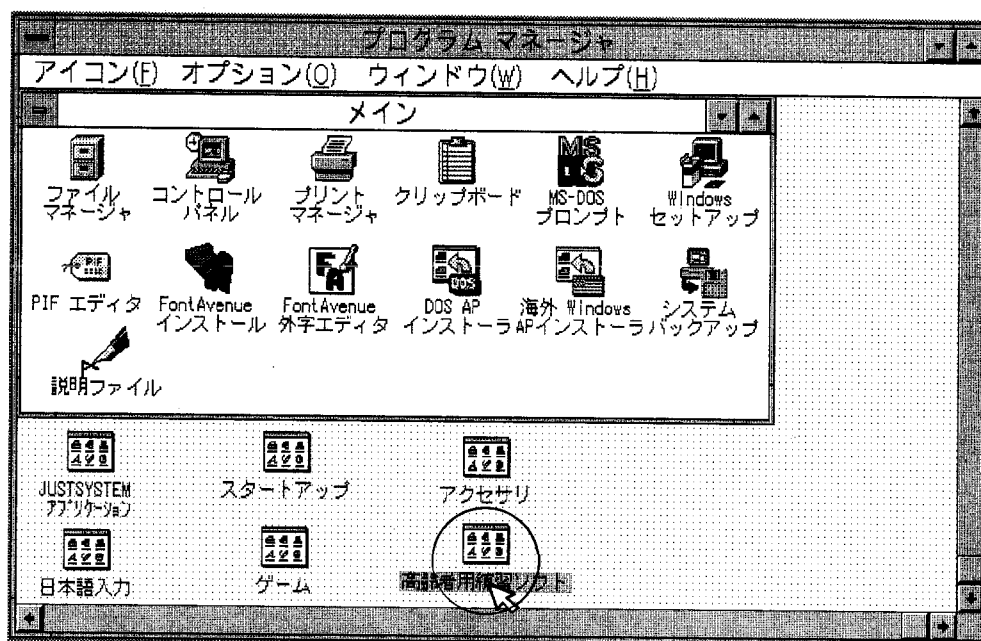
パソコンの電源を入れ、 キーを押すと自動的に Windows が起動されます。

(Windows の設定により多少異なります)



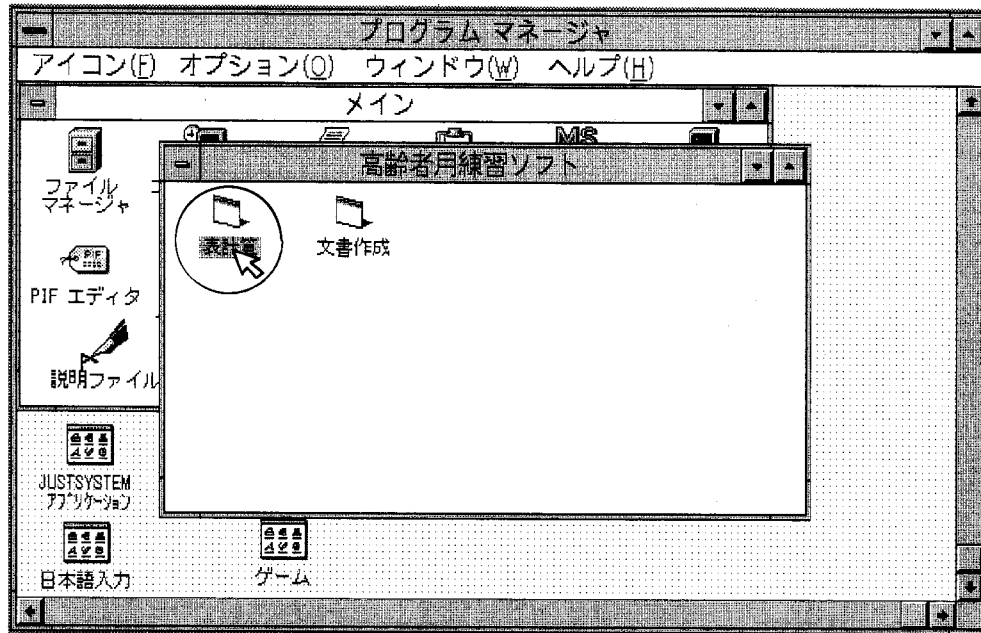
② 高齢者用練習ソフト（グループアイコン）を選択する

プログラムマネージャの画面の中の高齢者用練習ソフト（グループアイコン）へマウスポインタ（)を移動してダブルクリックします。

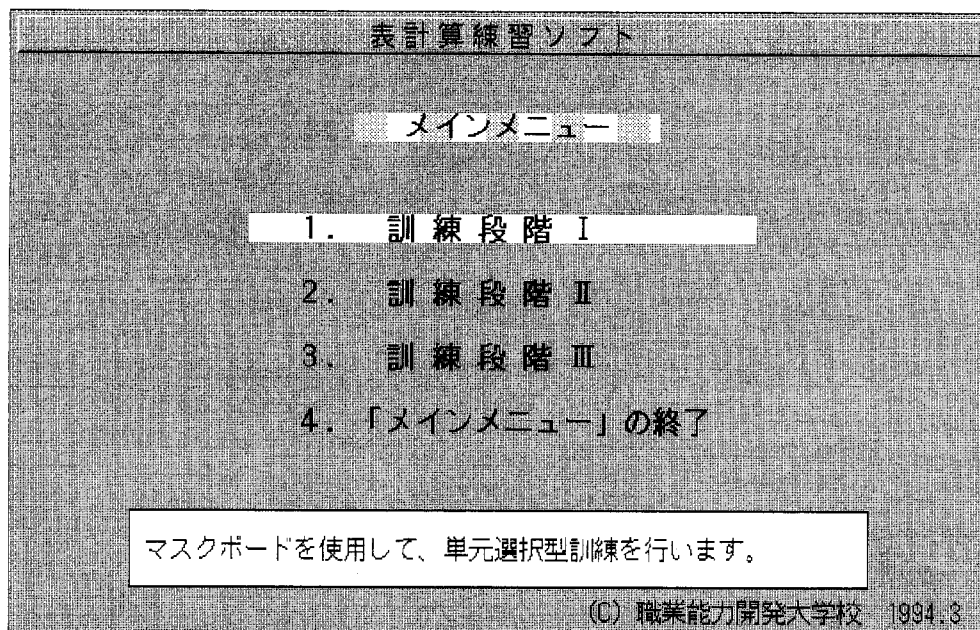


③ 表計算（アイコン）を選択する

高齢者用練習ソフトウィンドウの中から表計算（アイコン）へマウスポインタを移動してダブルクリックします。



しばらくすると、次のような表計算練習ソフトのメインメニュー画面が表示されます。



この画面から、各訓練段階ごとに練習を行うことができます。

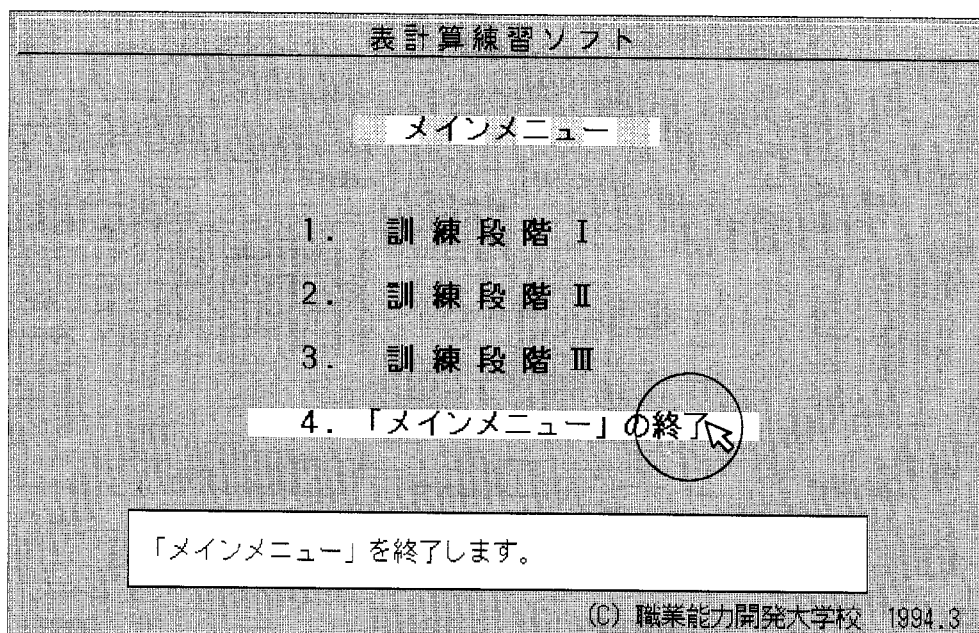
3. 表計算練習ソフトの終了方法

表計算練習ソフトの終了は、次のように行います。

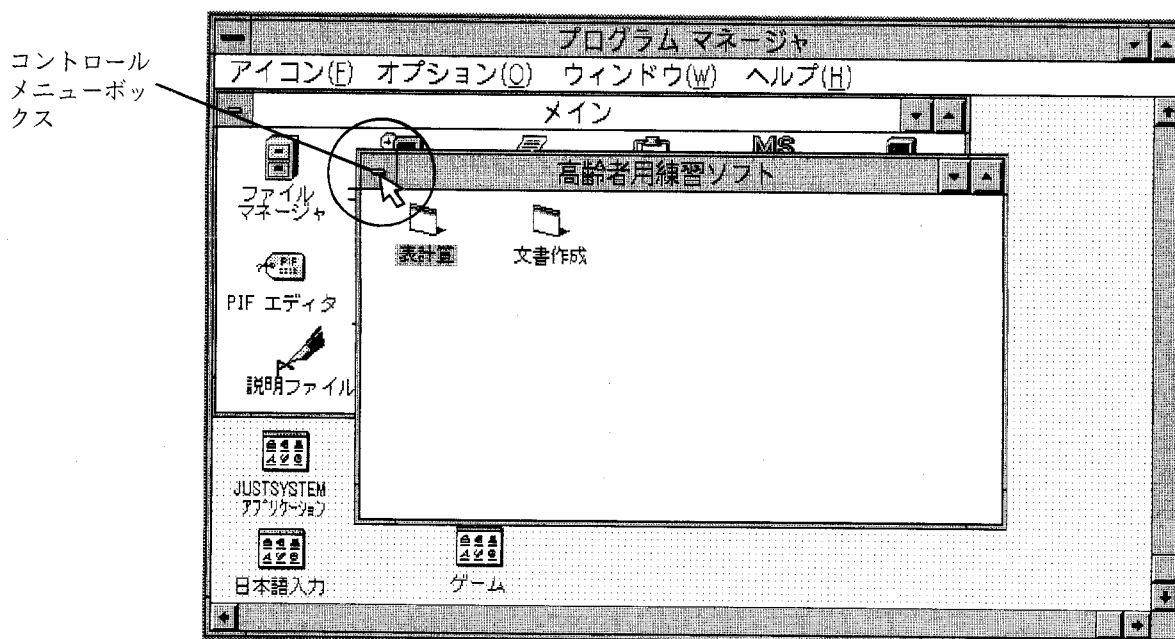
操 作

- ① 4. 「メインメニュー」の終了 を選択する

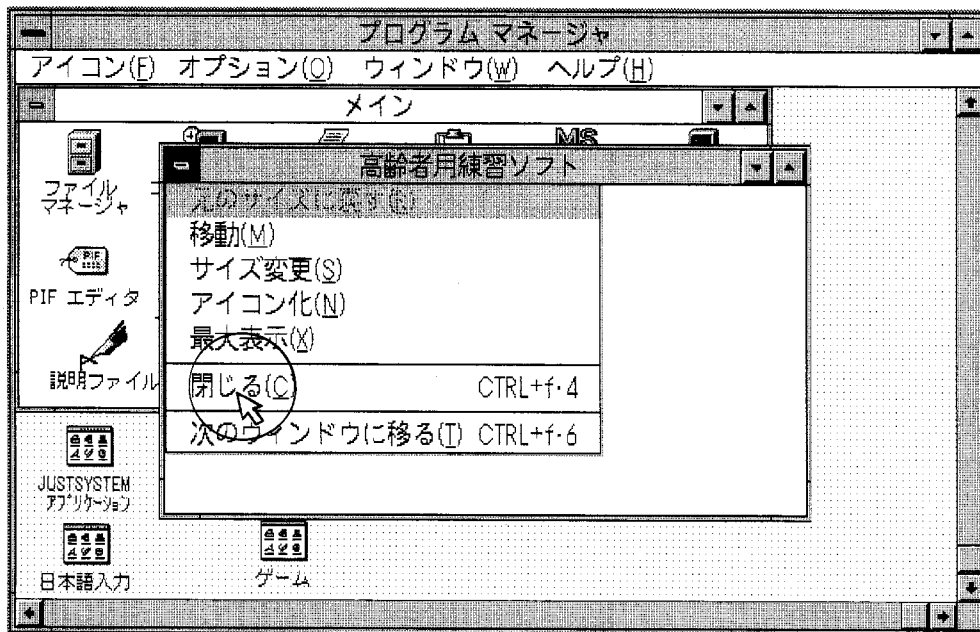
メインメニュー画面の 4. 「メインメニュー」の終了 へマウスポインタを移動してクリックします。



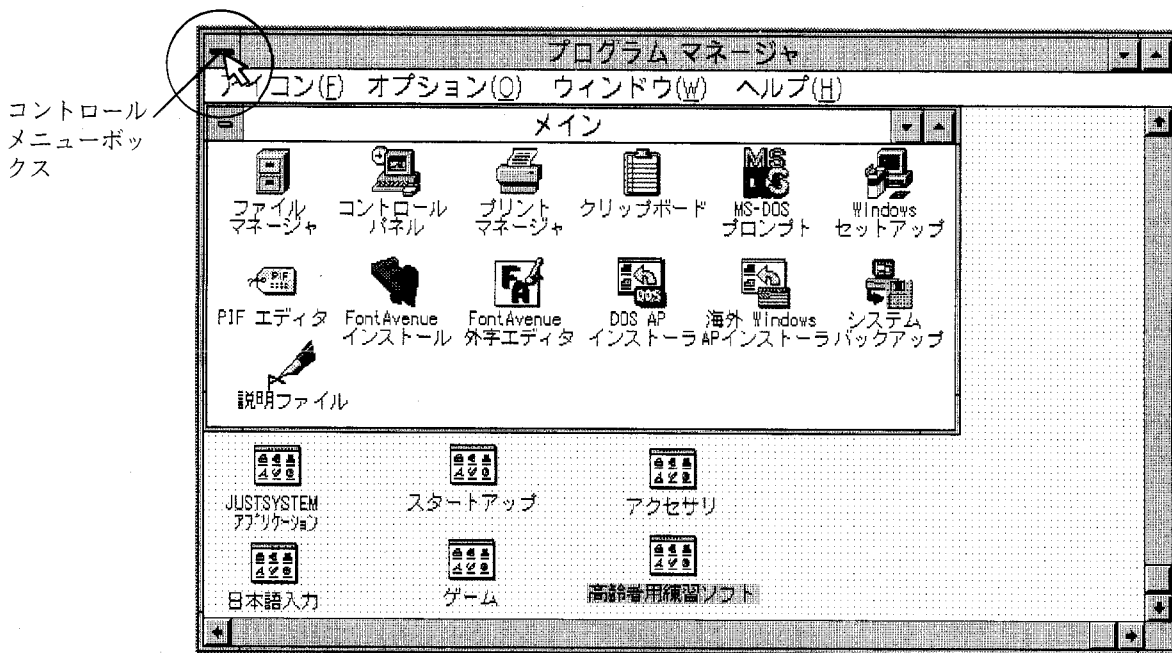
- ② 高齢者用練習ソフトウィンドウのコントロールメニューボックスをダブルクリックする



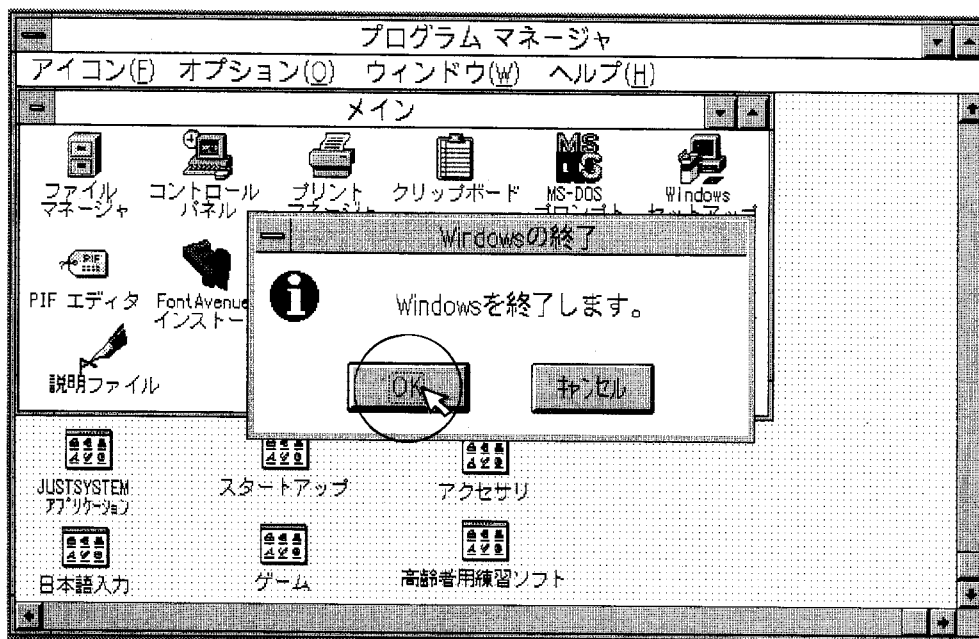
または、1回だけクリックした後 **閉じる (C) CTRL+f.4** を左クリックします。



③ プログラムマネージャのコントロールメニューボックスをダブルクリックする

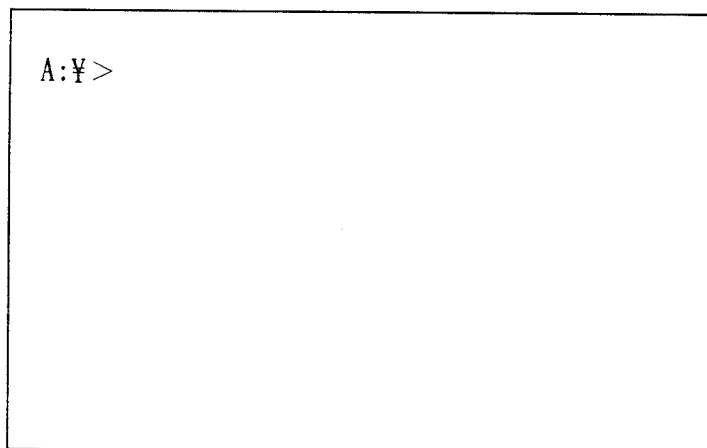


④ Windowsの終了を確認するウィンドウの **OK** を左クリックする



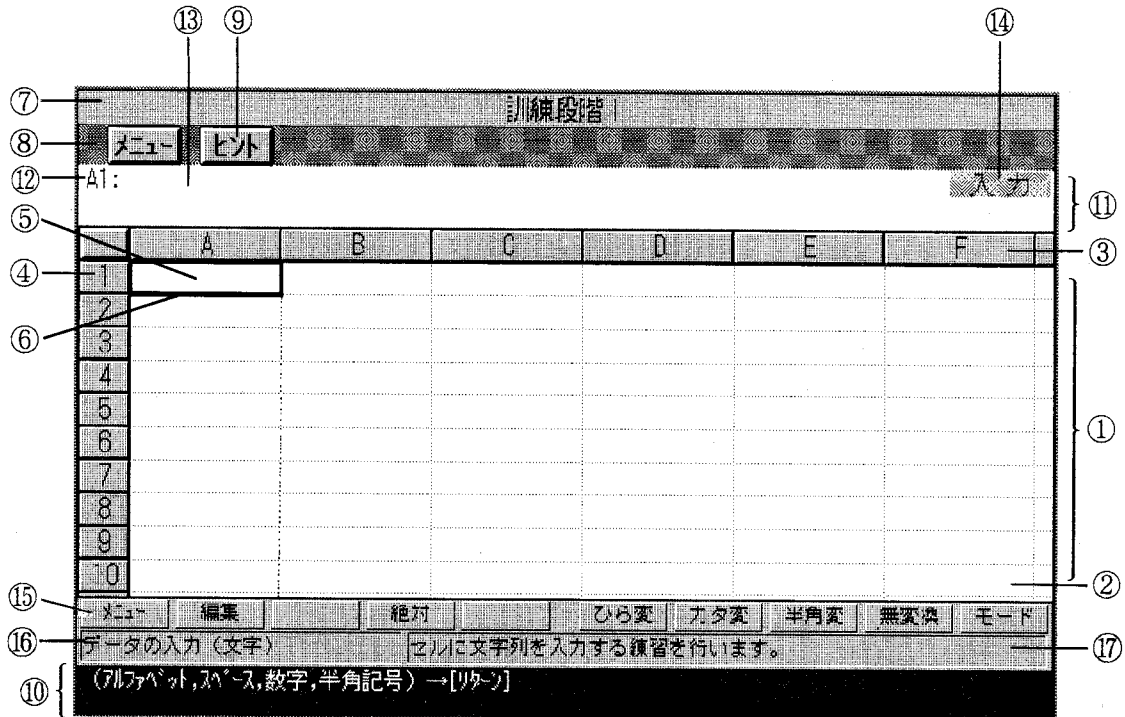
⑤ 電源を切る

画面が MS-DOS のプロンプトになりましたら、パソコンの電源を切ります。



4. 表計算練習ソフトの画面

表計算練習ソフト操作の中心として展開する、この画面について各部の名称と内容を知っておきましょう。



中央に広がる白い部分をワークシートと呼びます。

もし手書きで表を書くとすれば、ただの白い紙より方眼紙など縦横の升目がある用紙のほうが使いやすいですね。ワークシートは、画面上に広がった方眼紙だと考えましょう。升目にそって線を引いたり、升目ごとにデータを入力するわけです。

この升目の1つずつをセルと呼びます。ワークシート全体でセルは横に26個、縦に200個あります。画面にはそのうち、現在使用している一部分のみ表れています。

① ワークシート

② セル

各セルにはそれぞれ縦横の位置を示すセル番地がつけられています。横の並びには左側からA～Zまでのアルファベットがつけられ、これを**列名**と呼びます。縦の位置は上から行数で示し、これが**行番号**となります。セル番地は列名と行番号の組み合わせです。

例) セル番地A 1のセルはA列の1行目に位置する

画面のワークシート上で太線の囲みのついているセルが1個ありますね。これを**カレントセル**と呼び、囲みを**セルポインタ**と呼びます。データのは、まず入れたい場所のセルにこのセルポインタを合わせることから始まります。

画面の一番上に訓練段階を示す**タイトル**が出ています。

その直ぐ下、左側のメニューは単元の分かれている訓練段階Iのみ表示されるもので、マウスで左クリックすると練習している単元を中断または終了することができます。

隣の**ヒント**をマウスで左クリックすると画面の一番下の部分(⑩)に操作方法(**ヒントメッセージ**)が表示されます。

ワークシートのうえの2行分ほどの空間を**操作パネル**といい、カレントセルについての番地(**カレントセル番地**)、内容を示す重要な部分です。

操作パネルの右上に、現在の動作状態を示す**モード標識**が出ています。

③列名

④行番号

⑤カレントセル

⑥セルポインタ

⑦タイトル

⑧メニュー

⑨ヒント

⑩ヒントメッセージ

⑪操作パネル

⑫カレントセル番地

⑬カレントセルの内容

⑭モード標識

ワークシートの下側の1行分にファンクションキーメッセージが表示されています。この表示はそれぞれ、このソフトにおけるファンクションキーの働きを実際のキーの並びに対応させてあります。

ファンクションキーメッセージの下には、訓練段階 I の場合のみ、実行中の**单元名**と練習内容（**单元内容**）が表示されます。

⑮ ファンクションメッセージ

⑯ 单元名

⑰ 单元内容

M M